

消費者問題に関する特別委員会

委員一覧 (20名)

| | | | |
|-----|-------------|-------------|-------------|
| 委員長 | 石井 章 (維新) | 上野 通子 (自民) | 田島 麻衣子 (立憲) |
| 理事 | 神谷 政幸 (自民) | 古賀 友一郎 (自民) | 村田 享子 (立憲) |
| 理事 | 進藤 金日子 (自民) | 田中 昌史 (自民) | 高橋 次郎 (公明) |
| 理事 | 石川 大我 (立憲) | 比嘉 奈津美 (自民) | 松沢 成文 (維新) |
| 理事 | 佐々木さやか (公明) | 宮本 周司 (自民) | 田村 まみ (民主) |
| | 赤松 健 (自民) | 山田 太郎 (自民) | 大門 実紀史 (共産) |
| | 生稲 晃子 (自民) | 大椿 ゆうこ (立憲) | (会期終了日 現在) |

(1) 審議概観

第216回国会において、本特別委員会に付託された法律案及び請願はなかった。

〔国政調査〕

12月20日、消費者安全法第13条第4項の規定に基づく令和5年度消費者事故等に関する情報の集約及び分析の取りまとめ結果の報告について伊東内閣府特命担当大臣から説明を聴いた。

12月23日、脱毛エステの倒産トラブルへの消費者庁の対応、脱毛エステ等に係る消費者に向けた注意喚起の取組、特定継続的役務提供契約に当たり前受金保全措置の確認を周知徹底する必要性、公益通報及び公益通報者に対して禁じられている不利益な取扱いの要件、不利益な取扱いに対する罰則の導入等による実効性の確保への伊東大臣の取組姿勢、兵庫県における告発者に関する情報漏えいに対する認識、加熱式たばこの安全性に関する伊東大臣の認識、たばこに安全基準を設ける必要性、たばこのパッケージに画像を用いた警告表示を義務付ける必要性、美容医療クリニックの自由診療契約に関する相談体制の充実、一般社団法人の美容医療クリニックにおける管理者の名義貸しに対する政府の認識、美容医療クリニックによる被害の根絶と被害者を救済する消費者ホットラインの体制の充実、カスタマーハラスメントに関する伊東大臣の認識、家電リサイクル券のデジタル化の取組、農林水産省の協議会で検討中の食品価格形成のスキームにおいて消費者の視点を加える必要性、消費者庁発足の理由とこれまで果たしてきた役割、消費者庁デジタル社会における消費取引研究会の設置目的と委員構成に対する懸念、デジタル化の進展を踏まえた聴覚障害者に対する消費者保護の必要性等の諸問題について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○令和6年11月28日(木) (第1回)

○特別委員長を選任した後、理事を選任した。

○令和6年12月20日(金) (第2回)

- 消費者安全法第13条第4項の規定に基づく令和5年度消費者事故等に関する情報の集約及び分析の取りまとめ結果の報告に関する件について伊東内閣府特命担当大臣から説明を聴いた。

○令和6年12月23日(月) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 脱毛エステの倒産トラブルに関する件、公益通報者保護制度に関する件、たばこによる健康被害の防止に関する件、一般社団法人による美容医療クリニックの実態に関する件、カスタマーハラスメント対策に関する件、消費者庁の基本姿勢に関する件等について伊東内閣府特命担当大臣、横山財務副大臣、鰐淵厚生労働副大臣、仁木厚生労働副大臣、今井内閣府大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

村田享子君(立憲)、大椿ゆうこ君(立憲)、石川大我君(立憲)、松沢成文君(維新)、田村まみ君(民主)、大門実紀史君(共産)

○令和6年12月24日(火) (第4回)

- 消費者問題に関しての総合的な対策樹立に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。